

阪神・淡路大震災30年企画展

30年目の わたしたち たち

Our
Lives
from
January
17,
1995

國府理
Kokufu Osamu

束芋
Tabaimo

田村友一郎
Tamura Yuichiro

森山未来、梅田哲也
Moriyama Mirai, Umeda Tetsuya

やなぎみわ
Yanagi Miwa

米田知子
Yoneda Tomoko

2024年

12月21日 | 土 | - 3月9日 | 日 |

2025年

開館時間 10:00-18:00 休館日 月曜日、年末年始[12月29日(日)-1月3日(金)]
*入場は閉館の30分前まで *1月13日(月・祝)と2月24日(月・祭休)は開館、1月14日(火)と2月25日(火)は休館
Opening hours: 10:00-18:00 *Last admission 30 minutes before closing.
Closed: Mondays (exception January 13 and February 24),
December 29-January 3, January 14 and February 25.

観覧料 当日一般/1,600円、大学生/1,000円ほか *詳細は美術館HPでご確認ください

主催 兵庫県立美術館、神戸新聞社、朝日新聞社
協賛 公益財団法人伊藤文化財団、一般財団法人みなと銀行文化振興財団
協力 日本航空、神戸フィルムオフィス、写真弘社、ギャラリー小柳、ShugoArts
特別協力 公益財団法人日本教育公務員弘済会 兵庫支部
後援 NHK神戸放送局、サンテレビジョン、ラジオ関西
助成 芸術文化振興基金、一般財団法人安藤忠雄文化財団



兵庫県立美術館
HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART



芸術文化振興基金

30年目のわたしたち

Our Lives from
January 17,
1995

國府理
Kokufu Osamu

東芋
Tabaimo

田村友一郎
Tamura Yuichiro

森山未来、梅田哲也
Moriyama Mirai, Umeda Tetsuya

やなぎみわ
Yanagi Miwa

米田知子
Yoneda Tomoko

阪神・淡路大震災から30年を迎えるに際し、6組7名のアーティストによるグループ展を開催します。

1995年1月17日の震災では、兵庫県立美術館の前身である兵庫県立近代美術館(1970-2001)も建物や収蔵品に被害を受けました。同館を引き継ぎ、2002年に震災復興の文化的シンボルとして開館した当館では、これまでも震災後の節目の年に関連展示を開催してきましたが、今回が初めての特別展会場での自主企画展となります。

1995年から2025年までの30年の間に、アメリカ同時多発テロ(2001年)、東日本大震災(2011年)、ロシア軍によるウクライナ侵攻(2022年)、そしてイスラエルとハマスの武力衝突(2023年)、能登半島地震(2024年)と、世界は多くの自然災害や紛争に見舞われてきました。明るい未来を想像することはますます困難な状況となっていますが、そのような時代に求められる希望とは――。

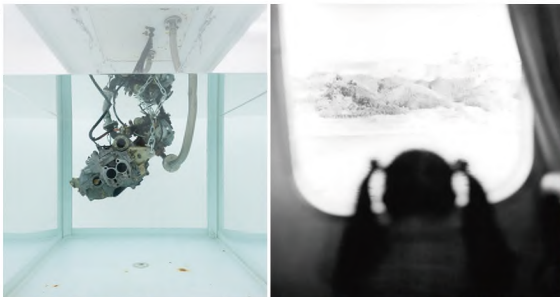
簡単には答えの出ないこの問いを、それでも、あるいはだからこそ考え続けるための、ひとつの場となることを目指し、本展を開催します。アーティストとその作品、何らかの出来事と、それらと出会うみなさんが展覧会という場につかま集うこと。言い換えれば、今それぞれに生きる「わたしたち」こそ「希望」の出発点にほかならない、そのような思いを展覧会名に込めています。

[参考図版]bを除く

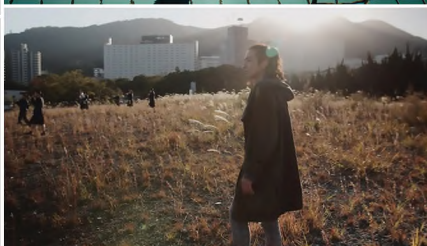
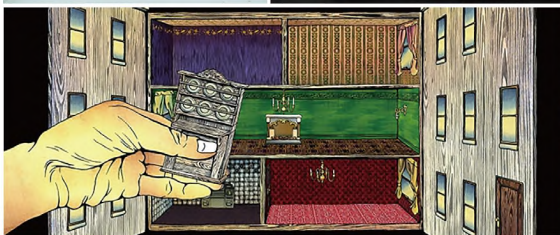
- a 「國府理 水中エンジン redux」(後期展)2017年 アートスペース虹の展示風景 撮影: Tomas Svab
- b 米田知子《震源地、淡路島》1995年 国立国際美術館蔵 ©Tomoko Yoneda/Courtesy of ShugoArts
- c/f 梅田哲也「梅田哲也イン別府『O滞』」役者: 森山未来ほか c/撮影: 天野祐子
- d 田村友一郎《試論: 栄光と終末、もしくはその週末 / Week End》2017年
- e 東芋(dolefullhouse)2007年 兵庫県立美術館蔵 ©Tabaimo/Courtesy of Gallery Koyanagi
- g やなぎみわ《「女神と男神が桃の木の下で別れる」川中島 II》2016年

1995 ⇔ 2025

a, b, c, d



e, f, g



関連イベント

- アーティスト・トーク
米田知子×東芋 2024年12月21日(土) 14時から(約90分)
- 詳細および2025年1月以降の予定は決定次第、美術館HPでお知らせします。

同時期開催の展覧会

- 注目作家紹介プログラム チャンネル15
森山未来、梅田哲也《解》
2024年12月21日(土) - 2025年3月9日(日)
- コレクション展Ⅲ
あれから30年―泉美コレクションの半世紀
2025年1月7日(火) - 4月6日(日)



Ando Gallery

- 当館2F(入場無料)

横尾忠則現代美術館での同時開催の展覧会

- 横尾忠則の人生スゴロク展
2025年1月17日(金) - 5月6日(火・祝)

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 [HAT神戸内]
1-1-1 Wakinohama Kaigan-dori, Chuo-ku,
Kobe City 651-0073 [Inside HAT Kobe]

Tel: 078-262-1011
<https://www.artm.pref.hyogo.jp/>

[交通案内]

- 阪神岩屋駅(兵庫県立美術館前)から徒歩約8分
- JR神戸線灘駅南口から徒歩約10分
- 阪急王子公園駅西口から徒歩約20分
- JR三ノ宮駅南から神戸市バス(29-101系統)にて約15分、「県立美術館前」下車すぐ
- 地下駐車場(乗用車80台収容・有料)
- *ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください

